

数論的幾何学特選 数学総合講義B 代数学特殊講義H I

平野 雄貴 講師
(東京農工大学・講師)

談話会

6月15日(月) 16:00~

「非可換クレパント解消の変異と導来圏」

Van den Berghは、クレパント解消の非可換環類似として、非可換クレパント解消と呼ばれる非可換環を導入し、良い状況のもとでクレパント解消と非可換クレパント解消の導来圏が圏同値となることを証明した。また、クレパント解消の間のフロップと呼ばれる双有理変換の非可換環版として、変異と呼ばれる操作が伊山-Wemyssにより導入された。本講演では、非可換クレパント解消の変異について概説する。

講義
期間
・
題目
・
内容

6月16日(火)~6月19日(金)

各日 15:00~18:00

題目「非可換特異点解消入門」

特異点解消は、特異点を持つ代数多様体を滑らかな代数多様体に変換する操作であり、代数多様体の研究において非常に重要である。その中でも特に性質の良い特異点解消としてクレパント解消が知られており、その存在や分類は興味深い問題である。この講義では、これらの非可換環類似である非可換特異点解消および非可換クレパント解消の基本事項を解説する。また、良い状況下においては、通常のクレパント解消と非可換クレパント解消が導来圏を通じて対応することも紹介する。

会場

川井ホール